

暁 星

第51号
5.3.1
発行
島根県立平田高等学校
暁 星 会
印刷
(有)西村印刷

慈照無量心
〜限り無い慈しみの心を持つ〜



会長 山下 壮一
暁星会会員皆様に於かれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

平素より当会及び母校平田高等学校に對しまして、格別のご支援とご協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

この一年間も新型コロナウイルス禍の影響を受け、暁星会の運営もままならず、役員様を始め会員皆様方に多大のご迷惑をお掛け致し大変に心苦しく思っています。



カメラ

平田高校に於きましても、コロナ禍の關係で体育係・文化部共に對外活動が厳しく制約される昨今では在りましたが、氣丈夫に努力を

重ねられて開催された大会には素晴らしい活躍をなさいました。ご指算なごた先生方は勿論の事、取り組まれた生徒の皆さん方に対しても心から敬意を表します。



画材

活動内容は別欄にてご報告をしております。今回は写真等の掲載を増やして紙面構成を新たに致しました。

昨年の十二月二十五日、全国高等学校駅伝競走大会にて、京都・都大路を男子・女子両チームが三年連続アベック出場(女子は十二年連続十四回)それぞれに力走を致しました。

近畿地域の本校卒業生のお方や、島根県ご出身の沢山の皆様方には毎年、温かい応援をお寄せ頂き心から感謝を致しています。

さて、野球部甲子園出場の折にお寄せ頂きましたご浄財の残金を基に「平田高等学校後援会」を一昨年五月に設立以来、管理・運営を行っています。

お蔭様にて体育部・文化部の部活動の器具・備品を充実させ、また校舎周辺の整備を行って参りました。

平田高校には従来より「後援会」が無かつた為に、各部活動の用具・備品類の不備が多く、また環境整備も不十分でした。



校庭新ベンチハウス



校庭旧ベンチ

前述のように現在には徐々に対応が出来ていますが、近年中には財源がいずれ枯渇致します。その為に今から「持続可能な支援体制を堅持」すると共に、併せて「暁星会の活動支援」の強化を計る事と致しました。

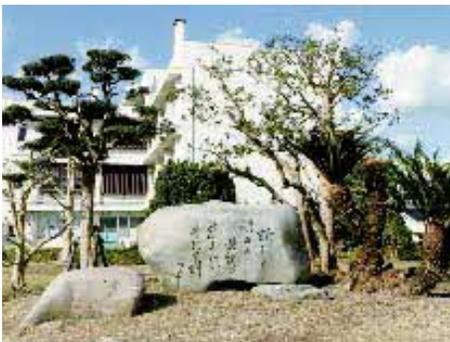
先ずもって令和四年度に、新たに島根県内在住の暁星会会員を対象とした「暁星会・後援会・支援会員募集」を展開致しましたところ多くの皆様にご支援をお寄せいただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。

未だ世情は厳しい状況下では有りますが、引き続きご温情を賜りますようお願いを申し上げます。今年度もいよいよ終わりとなりました。

三月二日にめでたくご卒業の皆様は、ご卒業と同時に平田高校同窓会で在ります「暁星会」にご入会を頂きます。これからは



書籍

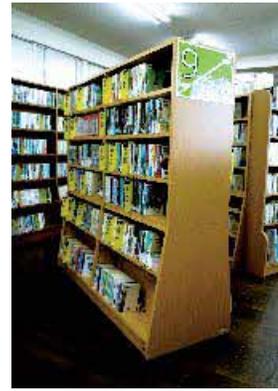


校舎正面整備 後



校舎正面整備 前

母校の為に、ご支援ご協力をお寄せ頂きますよう宜しくお願い致します。
 結びに、暁星会・会員ご一同様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。



書 架

地域との協働による 持続可能な学校づくり

～Goal for 2026(創立110周年)～



校長 小林 努

校長 小林 努
 暁星会会員の皆様には、お喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、昨年三月の暁星新聞第50号発行にあわせて、協賛金のご協力をお願いしたところ、多くの会員の方々から浄財をお寄せいただきました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

昨年度、校長として平田高校に赴任し、二年が経とうとしています。卒業生や地域の皆様をはじめとする多くの学校関係者の方々にご支援をいただきながら、学

校運営に取り組んでおります。

さて、今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をとりながら一部制限はありましたが、生徒の「学びを止めない」ことを念頭に教育活動を進めてまいりました。十月に実施した二年生の研修旅行は、行き先を広島に、日程も一泊二日に変更して行いました。毎日の授業を含め、その他の諸行事はおおむね計画通りに実施できたように思います。

今年度を振り返り、本校の教育活動から三点お伝えいたします。

令和四年四月九日に第七十六回入学式を挙行し、新入生百五十八名を迎えました。募集定員は昨年度の百四十四名から従来の百六十名となりました。その新入生を加え、全校四三六名で新年度をスタートいたしました。

1 部活動の活躍

五月下旬から六月初旬にかけて、県高校総体が開催され、本校から総勢一六七名の選手が参加、男女ともに健闘し、敢闘賞を受賞しました。八月に四国地方で開催された全国高校総体には柔道部一名が出場しました。

また、駅伝部は県高校駅伝で男子が三年連続三回目、女子が十二年連続十四回目の優勝を飾り、三年連続、男女アベックで十二月二十五日に京都市で行われた全国高校駅伝に出場しました。当日のレースでは男女ともに昨年の経験を生かし、落ち着いた粘り強い走りを見せ、男子が四十位、女子が二十八位という結果でした。現地では近畿平田会の村田会長様を

はじめ、多くの会員の皆様より温かいご声援をいただきました。

文化部も健闘を見せ、放送部が第六十九回NHK杯全国高校放送コンテストにラジオドキュメント部門で出場しました。部活動の詳しい結果については「令和4年度部活動の成績」をご覧ください。

2 令和四年度優れた教育活動表彰受賞

本校は十一月一日『しまね教育の日』に島根県教育委員会から「令和四年度優れた教育活動表彰」を受けました。令和元年度から三年間の文部科学省指定事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」地域魅力化型への取組を評価されたものです。

とくに、「総合的な探究の時間」を中心とする、地域と連携・協働した体験的・探究的な学びである地域協働学習への取組や、その学習を通して、生徒の地域貢献意識や社会参画意識が高まり、将来、地域に積極的に関わろうとする人材が増えつつある点を高く評価していただきました。

指定事業は終わりましたが、地域協働学習は本校の教育活動の柱として、今後も継続し、さらに進化させていきたいと考えています。本校の研究テーマである「地域人材育成循環システム 平田プラタナスプラン」は将来の地域社会を担う人材育成を目的としています。高校三年間で終わりではなく、高校での学習をベースに進学あるいは就職後も、また地元を離れることになってもこの学びを継続してほしいと願っています。

3 持続可能な学校づくり

昨年九月、三年ぶりに開催された東京平高会(会長 大島敏男様)に出席しました。東京近郊にお住まいの卒業生を中心とした会で会員数は約百名とのことです。昭和二十九年卒業の大先輩をはじめ約三十名の参加者の皆様から、「平高生頑張れ!」と母校の後輩に対して熱いメッセージをいただきました。

年を重ねるにつれて母校愛が強くなると言いますが、皆様のお話を聞きながら、卒業生がいつまでも思いをはせることができる母校であり続け、そして在校生が日々充実した学校生活を送れるような「持続可能な学校づくり」に向けての決意を新たにいたしました。

さて、「持続可能な学校」とは、どのような学校のことを言うのでしょうか。「皆が長く快適に過ごせる学校」だとすれば、生徒にとっては「毎日行くのが楽しい学校」、保護者にとっては「子どもを通わせてよかったと思える学校」、また地域の方々にとっては「地域に根差した親しみのある学校」などということになるのでしょうか。

本校のビジョン、すなわち目指す学校像として、「地域から信頼される、魅力と活力のある学校づくりの推進」を掲げています。私はビジョンの実現が「持続可能な学校づくり」の第一歩だと考えています。

そして、「魅力と活力のある学校づくり」には生徒の力が不可欠であり、本校の「育てたい(目指す)生徒像」として次の四つを掲げています。

一 自他の人権を尊重し、差別をなくす

実践力のある生徒

お互いが気持ちよく学校生活が送れるよう、それぞれの違いを認め、お互いを受け入れ、互いに高め合っているような人間関係の構築を心がけてほしい。

二 自己管理ができ、諸活動に対して主体的に取り組む生徒

自己管理の第一歩は健康管理。学業を柱としながら、部活動や校外の活動にも積極的に取り組むことによって、心身を鍛え、人間性を磨いてほしい。

三 「生きる力」となる学力を身に付け、たくましく自己実現を目指す生徒

四 社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現のために貢献する生徒

平田高校というフィールドを十分に活用し、授業を通して確かな学力を身に付け、近い将来、社会、そして地域に貢献してくれる有為な人材に育ってほしい。

「持続可能な学校づくり」に直接つながる「育てたい（目指す）生徒像」の実現に向けて、今後も教職員・生徒・保護者・地域が連携・協働し、あらゆる教育活動に取り組んでまいります。

このたび百三十三名の卒業生が暁星会の新会員として、皆様の仲間入りをさせていただきます。諸先輩方からご指導ご鞭撻を賜り、良好な人間関係を築き、今後は学校外から母校を支える、よきサポーターになってくれることを期待しております。

結びに、会員の皆様のみますますのご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶いたします。

部活動

上位大会
出場者から

柔道部

「目標に向かって」

柔道部 女子主将 中島 千波

私の高校生活は、朝練に始まり稽古で終わるといふ部活動が中心にあります。一年生の時は、その生活リズムに慣れることが難しく、唯々がむしやりに与えられたメニューに沿って動き、そのメニューをやり切るのに必死でした。そんな時に、監督である高橋先生から「お前の目標は何」と聞かれました。ですが私は答えることが出来ませんでした。その時、自分がどれだけ狭い視野の中において目の前の壁に背を向けているのか気づきました。先生のおかげで、自分の最終目標は「日本一」になることであり、それは自信につなげるための目標でもあるとわかりました。

今年度のインターハイでは相手の戦法にとらわれず自分のやりたいことを徹底し、気持ちで負けないよう自信を持って戦いました。当日はものすごく緊張感がありました。目をつむって呼吸を整え、目の前の相手に勝つことだけに集中し畳に上がりました。結果は2回戦敗退でした。具体的な目標を明確化してから今までに3回もチャンスがあったのにもかかわらずなかなか結果を残せなくて、目標

達成までの道のりは長く、自分なりに時間の使い方を工夫する必要があると思えました。そして、やること全てに意味を持ち妥協することなく、自分に厳しくしないと全国に通用する力がつかないことを身に染みて感じました。

今年度の全国選手権島根県予選は3年生が引退されて新体制で初の大会でした。結果は、女子団体と女子個人3階級で優勝することが出来ました。この大会は、久しぶりの有観客で平日頃からお世話になっっている保護者の方々のご声援があったの結果だったと思います。3月には全国大会がありますが、1人で戦わずチームが一体となって勝ち進み、「日本一」を目指して戦い抜いてきます。

私は、自分1人の力だけでは間違いないここまで来れていません。毎日夜遅くまで稽古に付き合ひ自分たちに合う練習メニューを考え、技術面だけでなく生活面での大切さも熱心に指導してくださる先生方、大会に応援に来て声援を送り、



私たちにやる気を与えて下さる保護者の方々、自分の時間や身を削り支えてくれる両親、毎日厳しい稽古に取り組み、相手をしてくれている部員の支えがあつてここまで来れていると思います。先生に教わったように、当たり前のことを当たり前のことと思わず関わる全ての方々へ感謝の気持ちを持って、「日本一」に向けて引き続き頑張つて行きます。

駅伝部

全国高校駅伝を終えて

駅伝部 田邊 心

12月25日に京都市で行われた全国高校駅伝に島根県代表として走らせていただきました。平田高校は今年で12年連続出場をしています。県予選では、年を重ねるごとに伝統も積み上げられ、歴代の先輩方が守つてこられたこの連覇を、次につなげなければという緊張感と責任感を感じながら無事全国高校駅伝出場を決めることができました。毎年、この駅伝シーズンに入ると感じることは、一人で戦うトラックシーズンよりも熱くみんなが燃え上がり、チーム力の高さ、応援して下さる皆様とワンチームで戦える楽しさがあることです。駅伝という競技は、道路で走ることもあり、街の雰囲気や、街の人の温かい応援を感じながら走る事ができます。こんなに近くで応援してもらえるからこそ、選手と応援者が一つになって全力で頑張れるスポーツです。平田高校は、どのチームよりも一つになつ

て戦うことができているので、強いと私は思います。京都に行っても、どこを走ってもずっと聞こえる応援の声に安心し、最後まで力を振り絞って走ることができると身をもって感じられました。走れるメンバーがいれば、走れないメンバーもいます。全員で練習を乗り越えてきたからこそ、強くなれて頑張ることができました。そのメンバーの想いも背負って走ること、きつい時にもう一回頑張ることができたと思います。平田高校の強みは、駅伝にかける想いの強さと、保護者の皆様、地域の方々、先生、応援し支えてくださるすべての方々と一緒に作り上げる全員駅伝をしていることです。

今年の全国高校駅伝は、新型コロナウイルスの制限が緩和され、コロナ禍前の大会の雰囲気に戻りつつありました。3年ぶりに開閉会式に全員で参加できるようになったり、応援でも、現地に地元の方々が駆けつけてくださったりと、その熱い応援に背中を押され力になりました。私は3年間、このたくさん愛されている平田高校で駅伝部として活動できたことを誇りに思います。

全国高校駅伝を振り返って

駅伝部 佐々木 一哲

僕は、3年連続で全国高校駅伝に出場しました。1区は区間21位で、とてもよいスタートを切ることができ、2区も1年生ながら、堂々とした走りで自己ベストで走りました。長い距離が2区間続く重要なポイントになるところで、3年生

が流れに乗ることができず、順位を落とすまいとしました。それ以降は順位変動なく40位という結果でした。

今年は、夏の総体シーズンにチームで立てた目標を達成することができませんでした。その悪い流れを駅伝シーズンに持ち込まないように、チームミーティングを開いて目標を再確認し、士気が高まりました。いい練習が日々積めるようになってきました。そして、大会でも自己ベストを更新する人が続出し、少しずつ良い雰囲気になる中、県駅伝が近づいていきました。

県駅伝では、風が強く苦戦しましたが、一人一人が踏ん張り、力強く走り抜き、



3年連続優勝、そして3年連続男女アベック優勝を達成することができました。

僕自身は、県駅伝と全国駅伝では3区と4区を走りましたが、どちらも納得のいく結果を出すことができませんでした。昨年の中国新人陸上で3位になり、夏まではインターハイ出場を目標にトレーニングをしてきました。しかし、インターハイに出場することはできませんでした。次に立てた目標が、全国高校駅伝で4区で区間15位に入ることでした。その目標に向け、練習を積み、自信を持って、全国高校駅伝に挑みました。レース内容は、自分の想定通りでしたが、思っていた結果が出ず、全国で戦う難しさを学ぶことができました。僕は大学でも競技を続けるので、大学では全国の舞台で結果を残せるように努力していきたいと思っています。

放送部

「放送部に入って」

三年 持田 昂佑



私は、放送部に入ることとで、たくさんのお話を学びました。それらは、放送部に入らなければ、体験できなかったものだと思います。

まず、よい滑舌や文章力を手に入れることができました。また、人と話す、コミュニケーション力も高まりました。取材を通して、相手の本音を聞くためにこちらがどう話したらよいか、自分の話したいことを伝えるためにはどう話したら

よいか、そういうことを考え行動するようになりました。

そして、全国大会を経験したことです。全国大会は、私のあこがれの場所でした。中学生のころも、部活動に明け暮れていましたが、全国大会に行くことは一度もありませんでした。一年生のときは新型コロナウイルスのため大会自体が中止になり、二年生のときもデータ審査だったこともあり、あまり力を入れてなかったこともあって、そのため感動は正直ありませんでした。しかし、高校三年生、最後の大会で、自分が本手がけたと言える作品で全国大会に出場できました。努力が実った嬉しさは格別のものでした。やはりコロナ禍のため、実際に会場に集まり、全国から参加している作品に触れたり、全国の高校生徒と交流したりすることはできませんでしたが、全国の出られたことをとても誇りに思っています。

次に、私は一年間、放送部の部長を務めました。私はリーダーシップなどなく、部長になったときはとても不安でした。しかし、頼れる友達と有能な先輩のおかげで、リーダーとしての責任を持ち、一年間部長を務めることができました。先輩の相談にのることもあり、この経験から、話の聞き方も学んだように思います。

高校に入学し、放送部を見学した時、先輩たちが和気あいあいと活動しておられ、楽しそうに思っていて、気楽な感じで放送部に入りました。しかし、入ったおかげで、多くのものを得たと思います。私は、放送部に入って本当に良かったです。

令和4年度部活動の成績

陸上部 駅伝部

○県高校総体陸上競技

- トラックの部 男子3位
- トラックの部 女子1位
- 総合成績 男子3位
- 女子3位

【男子】

- 三段跳 2位 永見侑大
- 砲丸投 6位 坂本琉太
- やり投 8位 渡辺 響
- 円盤投 8位 坂本琉太
- 110mH 4位 高橋快仁
- 1500m 2位 佐野泰斗 8位 石飛翔梧
- 5000m 1位 田原匠真 3位 佐野泰斗
- 8位 加藤蒼梧
- 3000mS C 1位 佐々木一哲
- 7位 富岡成望 8位 三島琉正
- 5000m W 3位 岩崎輝翔 6位 錦織秀樹

【女子】

- 走幅跳 6位 森本芙美
- 4×100m R 6位
- 100m H 6位 木村友望香
- 800m 1位 田邊 心 2位 多久和陽菜
- 3位 小村実加
- 1500m 1位 門脇花音 3位 森山紗仁美
- 7位 三代和果
- 3000m 1位 角 桃子 3位 本田琴弓
- 6位 青木愛葉
- 4位 加藤 杏

○第68回島根県高等学校新人陸上競技大会

【男子】

- 1500m 1位 石飛翔梧 5位 福岡健太
- 1年5000m 1位 福岡健太 2位 岡 真優
- 3位 富岡成望
- 2年5000m 2位 長廻舜也 7位 栗原卓也
- 8位 三島琉正
- 110m H 2位 高橋快斗
- 2位 岡 真優 5位 三島琉正
- 3000m S C 2位 岡 真優
- 8位 岩崎輝翔
- 3位 永見侑大
- 砲丸投 2位 坂本琉太
- 円盤投 7位 坂本琉太

- やり投 7位 渡邊 響
- 4×100m R 6位

【女子】

- 100m 3位 玉木麻裕 6位 三島実咲
- 200m 2位 玉木麻裕
- 800m 1位 多久和陽菜
- 100m H 4位 多久和理央
- 走幅跳 4位 森本芙美
- 4×100m R 3位
- 4×400m R 5位

○県高校駅伝

- 男子 優勝 2時間14分25秒

- (田原、福岡、佐々木、加藤、岡、長廻、富岡)

- 女子 優勝 1時間14分14秒

- (本田、森山、田邊、三代、角)

○中国高校駅伝

- 男子 12位 2時間14分16秒

- (長廻、石飛、佐野、福岡、岩崎、栗原、三島)

- 女子 9位 1時間15分56秒

- (森山、門脇、小村、多久和、青木)

○全国高校駅伝

- 男子 40位 2時間11分18秒

- (田原、石飛、佐野、佐々木、福岡、富岡、加藤)

- 女子 28位 1時間13分06秒

- (森山、角、門脇、田邊、本田)

剣道部

○全国高等学校総合体育大会島根県予選

- 男子個人 一回戦敗退 佐藤健太
- 一回戦敗退 加地正季

女子個人 一回戦敗退 梅野可帆

○第68回中国高等学校剣道選手権大会

- 女子個人戦 初戦敗退 梅野可帆

○島根県高等学校剣道選手権大会

- 男子個人 二回戦敗退 加地正季

○島根県高等学校新人剣道大会

- 男子個人 二回戦敗退 加地正季

柔道部

○第69回中国高等学校柔道大会 島根県予選

- 【男子団体戦】 3位
- 【女子団体戦】 2位
- 【男子個人戦】 3位 鳥屋尾翼

- 90kg級 3位 平川 心
- 100kg超級 3位 中前 元

【女子個人戦】

- 57kg級 2位 福田さくら
- 63kg級 1位 中島千波
- 70kg級 3位 多久和桃華

○第60回島根県高等学校総合体育大会

- 【男子団体戦】 3位
- 【女子団体戦】 3位

【男子個人戦】 60kg級 2位 熱田雄大

100kg級 3位 青木魁士

100kg超級 2位 中前 元

【女子個人戦】 57kg級 2位 福田さくら

63kg級 1位 中島千波

78kg級 3位 多久和桃華

○第69回中国高等学校柔道大会

【女子個人戦】 57kg級 2位 福田さくら

63kg級 3位 中島千波

○第60回全国高等学校総合体育大会

【女子個人戦】 63kg級 2回戦敗退 中島千波

○第54回島根県高等学校新人柔道大会

【男子団体戦】 2位

【女子団体戦】 1位 ※4年ぶり6回目

【男子個人戦】 60kg級 2位 熱田雄大

73kg級 3位 森山巨央

100kg級 3位 青木魁士

【女子個人戦】 無段の部 3位 多久和柚香

57kg級 2位 福田さくら

63kg級 1位 中島千波

○第45回全国高等学校柔道選手権大会島根県大会

【男子個人戦】 60kg級 2位 熱田雄大

73kg級 3位 森山巨央

【女子個人戦】 52kg級 1位 三原真実

57kg級 1位 福田さくら

63kg級 1位 中島千波

女子団体と個人優勝者は全国高等学校柔道選手権大会に出場(R5 3/20・21)

卓球部

○中国高校選手権島根県予選大会

男子 ベスト8

○島根県高等学校総合体育大会

男子団体 ベスト16

- 女子団体 ベスト8
- 男子ダブルス ベスト16 飯塚祐翔 岡 幸生

○島根県高校選手権

- 男子ダブルス ベスト16 鄙山大輝 森井蒼大郎
- 女子ダブルス ベスト16 森井・北脇

○新人戦

- 女子団体 5位
- 女子シングルス ベスト16 松田千怜

○第50回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選

- 女子団体 予選リーグD組

○第50回全国高等学校選抜卓球大会

- シングルス(2部) 島根県予選会

【男子】ベスト8 北脇 晴 梶谷哲斗

ベスト16 森井蒼大郎

【女子】ベスト8 松田千怜

ベスト16 糸原優子

男子バスケットボール部

○県高校総体バスケットボール競技大会

【一回戦】 平田 73対91 明誠

女子バスケットボール部

○県高校総体バスケットボール競技大会

【一回戦】 平田 22対54 隠岐

【二回戦】 平田 22対95 松江商業

女子バレーボール部

○中国高等学校バレーボール選手権大会島根県予選大会

平田 0 20-25 2 三刀屋

平田 2 25-15 0 江津

25-22

○島根県高等学校総合体育大会バレーボール競技

2回戦 平田 0-2 益田

○島根県高等学校バレーボール選手権大会

1回戦 平田 0 15-25 2 島根中央

17-25

サッカー部

○島根県高等学校総合体育大会

1回戦 vs松江農林 0-1敗退

○島根県高等学校サッカー選手権大会

1回戦 vs松江南 1-3敗退

テニス部

○島根県高等学校テニス選手権大会
個人ダブルス 3回戦敗退
飯塚・福田 ベスト16

○島根県高等学校総合体育大会テニスの部(県総
体)
団体戦 1回戦 平田 0-3 安来
シングルス 3回戦敗退 2-1 福田珀人

ソフトテニス部

○島根県高等学校ソフトテニス中国大会島根県予
選
団体戦 1回戦 vs松江東 1-2 敗退
団体戦 1回戦 vs益田 0-3 敗退

野球部

○島根県高等学校春季野球大会中部地区予選
平田 2-9 大田(7回コールド)
○出雲地区高等学校野球大会
平田 4-7 三刀屋

水泳

○第52回県高校新人水泳競技大会
男子自由形50m 2位 大島史緒
男子バタフライ50m 1位 大島史緒
(大会新記録)

男子個人メドレー200m 1位 大島史緒
女子自由形50m 3位 野田陽彩
女子自由形100m 1位 野田陽彩
女子自由形200m 1位 野田陽彩
女子自由形400m 1位 野田陽彩
女子自由形800m 1位 野田陽彩
女子自由形1500m 1位 野田陽彩
女子自由形3000m 1位 野田陽彩
女子自由形5000m 1位 野田陽彩
女子自由形10000m 1位 野田陽彩
女子自由形15000m 1位 野田陽彩
女子自由形20000m 1位 野田陽彩
女子自由形30000m 1位 野田陽彩
女子自由形40000m 1位 野田陽彩
女子自由形50000m 1位 野田陽彩
女子自由形60000m 1位 野田陽彩
女子自由形70000m 1位 野田陽彩
女子自由形80000m 1位 野田陽彩
女子自由形90000m 1位 野田陽彩
女子自由形100000m 1位 野田陽彩

女子バタフライ50m 2位 神田美季
女子フリーリレー4×100m 優勝(大会新記録)
女子メドレーリレー4×100m 優勝

○第77回国民体育大会
大島史緒 男子バタフライ100m 予選出場
野田陽彩 女子自由形100m 予選出場

○第10回中国高等学校新人水泳競技選手権大会
男子自由形50m 2位 大島史緒
男子個人メドレー200m 2位 大島史緒

女子自由形100m 7位 野田陽彩
女子平泳ぎ200m 1位 松本瑚々菜
女子平泳ぎ100m 4位 松本瑚々菜
女子平泳ぎ100m 8位 曾田早希

女子自由形50m 6位 石原瑠華
女子フリーリレー4×100m 3位 石原瑠華
女子フリーリレー4×100m 4位 石原瑠華
女子メドレーリレー4×100m 3位 石原瑠華

吹奏楽部

○第63回全日本吹奏楽コンクール島根県大会
金賞
○第61回島根県高等学校音楽コンクール
角 魁人 金管部門 金賞
片岡直幹 金管部門 金賞 第1位
樋野 葵 ピアノ部門 銀賞

○第39回中国ユース音楽コンクール
管楽器部門 金管楽器の部
最優秀賞 片岡直幹
○第32回日本クラシック音楽コンクール
ピアノ部門 高校男子の部
5位 入賞 片岡直幹

○第46回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会
管打八重奏 金賞
○第46回全日本アンサンブルコンテスト中国大会
管打八重奏 銀賞

○全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト
出場(R5 3/27)
片岡直幹

写真部

○高文連写真専門部春季写真コンクール
本校から、27名135点を出品しました。
特選14点 入選27点
※「特選」入賞作品は、上位大会である「島根
県高校写真展」への出品資格があります。
○高文連写真専門部 秋季写真コンクールの結果

本校から13名 65点を出品しました。結果は以
下の通りです。
特選7名 入選7名
※特選に入賞した作品は「島根県高校写真展」
への出品資格があります。

○高文連写真専門部 島根県高校写真展の結果
本校から11名 16点を出品しました。結果は以
下の通りです。
1・2年の部 2席 高橋 唯
(令和5年度全国高校総合文化祭県代表)

6席 伊藤理音 入選4名
美術部
○高文連出雲地区絵画コンクール
入選 8名
○第55回島根県高校美術展 入選10名
○全国高等学校総合文化祭出品推薦作品
金山千沙子
○第55回島根県高校美術展 入選10名
金山千沙子
○全国高等学校総合文化祭出品推薦作品
金山千沙子

書道部

○高文連書道コンクール
佳作 西尾朱音 糸川理心 岡 百菜
矢野響喜

文芸図書部

○島根県高文連文芸専門部文芸コンク
ール
詩部門 優秀作1位 田中悠真
優良作 山崎紗奈
佳作 4名
短歌部門 優秀作3位 田中悠真
優良作 小村唯斗
俳句部門 優良作 小村唯斗
優良作 野津映月
小村唯斗
小説部門 佳作 飯塚春希
3名
文芸誌部門 優秀作(全体の3位)
32回永井隆平和賞
「高校生の部」佳作 田中悠真
「高校生」佳作 田中悠真
○第24回高校生文芸道場中国プロック
大会
詩部門 最優秀1位 田中悠真
詩部門 一般の部」銅賞 田中悠真

放送部

○NHK放送コンテスト島根県大会
ラジオドキュメント部門
「男子だって……」代表 持田昂佑(3-2)
優秀賞 全国大会出場
○第26回島根県高等学校総合文化祭放送部門県大会
アナウンス部門
優良賞 田中悠真
朗読部門
優良賞 飯笹こころ 勝部詩温 野津映月
オーディオメッセージ部門
優良賞(第4位)
「地域と仲間と人力車」代表 小村唯斗
ビデオメッセージ部門
優良賞(第3位)
「風に吹かれて」代表 飯笹こころ
※優良賞の4名及び1作品は中国大会出場

JRC部

○島根県青少年赤十字メンバー秋季協議会
島根県青少年赤十字メンバー秋季協議会研究発表
優秀賞(第2位)

進路の状況

進路概況(延べ数)

卒業年度	R元年度		R2年度		R3年度		
	現役生	過年度卒	現役生	過年度卒	現役生	過年度卒	
合格先							
入学者数	国立大	13	10	14	2	9	6
	公立大	27	1	30	3	20	2
	私立大	46	4	39	3	70	6
	文科省所管外の大学校	2					
	公立短大	2		8		8	
	私立短大	7		13		5	
	文科省所管外の短期大学校	4		4			
	看護学校	11		6		6	
その他	25	1	19		15		
計	137	16	133	8	133	14	
就職者数	企業	2		1		3	
	公務員	5		5		4	
	計	7	0	6	0	7	0
未定	9		16		8		
卒業者数	153	16	155	8	146	14	

○第21回「ことのは大賞」
「十八歳以下の部」
優良賞 山崎紗奈
(島根県主催)